

【メルディア】一般財団法人メルディア広報誌

TAKE
FREE

MELDIA

VOL.58
NOV.2023



だれもが大切な特別な子。
みんなに「素晴らしい」を見つけよう！



See Amazing in All Children



だれもが大切な特別な子。
みんなに「素晴らしい」を見つけよう！

共通点も
違う点も両方
あることが当たり前。
子どもたちの心を
キャラクターとともに
育む機会も。

See Amazing in All Children



エルモやクッキーmonster、ビッグバードでおなじみのセサミストリートに、自閉症の特性があるキャラクター「ジュリア」がいるのはご存じですか？ジュリアってどんな子だろう、どんな風と一緒に遊んだら楽しいだろう、と番組などを通じて子どもたちに多様性の理解とコミュニケーションを伝えています。

《《 Who is Julia?》

ジュリア

明るくて好奇心旺盛な4歳の女の子。自閉症の特性がある。歌うことや踊ることが好きで、お絵かきやアートを作ることが得意。うさぎのぬいぐるみ“フラッフスター”が大親友。



Sesame Street® and associated characters, trademarks and design elements are owned and licensed by Sesame Workshop. © 2023 Sesame Workshop. All rights reserved.

03 だれもが大切な特別な子。
みんなに「素晴らしい」を見つけよう！

See Amazing in All Children



07 自分の居場所、大家族の一員として
重度知的障がい者が生涯を共にする

支援施設「止揚学園」



10 「速く書きたい」衝動に
ペンをひたすら走らせる 作家・marina



12 人生に必要なものは山が与えてくれる
ワイナリーで働き、いきいきと生活する
ころみ学園生たち！

16 おさんぽ DE 楽しむ！
～山・川の空気を吸いながら、のんびり箱根湯本散策～



18 美幸先生とたのしみ ミラクル絵本ツアー VOL.4

20 ファッションロスを食べ止める！
ファッションバンクが障がい者支援に



22 10月3日(火)に開所以来ご家族の皆さまに寄り添う
カウンセリングルーム メルディア ウェルネス

24 楽しくも遠い思い出
「できること」「できないこと」は歳を重ねると想像できるようになる
水越けいこ M Size はじまり Again

26 漫画エッセイ
シンママのはじめて育児は
自閉症の子でした
大変だったことも忘れられる
それが子育て！



30 DELISH KITCHEN×
りくですよチャンネル コラボ企画



31 読者プレゼント

多様性の理解を促し、差別のない世界をつくりたい

カラフルなキャラクター達が印象的なセサミストリート。日本では、「ABC」といった英語教育番組という印象が強いかもしれませんが、本来の目的は「すべての子どもたちががしこく、たくましく、やさしく育つことを支援する」と、その場所と時代に合った教育コンテンツを届けていくという2つの理念に基づいています。番組開始当初から未就学児を対象にし、今では「健康」「自閉症」など新たなテーマに合わせて、キャラク



ターの設定をアップデートさせたり、新しいキャラクターを登場させ、心も体も頭も、一人の子どもが成長する時にすべての側面から支援しているような学びを提供しています。内容は地域ごとに最適化しており、例えば、2004年〜2007年に放送された日本版の番組では、シーンにコンビニ

が出てきたり、運動会のエピソードがあったりと、細かなところまで子どもたちにリアルを見せることにこだわって作っています。肌の色が違っていても、見た目が違っていても、自分と同じところもある。すべてのキャラクターたちにメッセージを込めて、差別のない世界を目指しています。

子どもたちに等しく教育の機会を与えたいという思いから

セサミストリートが始まった1969年、アメリカは公民権運動の真っ最中で社会的不安が渦巻く状況にありました。経済的困窮家庭の子どもたちは学校に行けず、教育格差が広がって

育を提供しています。

自閉症プロジェクトの開始から7年。満を持してジュリアが登場

セサミワークショップは教育機関であり、自身でリサーチ機関を持っています。ニーズ調査や専門家を集めたカリキュラムセミナーは欠かせません。自閉症については、2010年の企画立ち上げから番組への登場まで7年かかったと言います。プロセスは大きく3段階あります。まずは現状を捉え、セサミストリートでは何をどう伝えていくかを協議します。次に、それを伝える手段やお話の内容、キャラクターを決めます。そして作ったものを一度子どもたちに見てもらい、伝えたいメッセージが伝わっているか、どのような効果を生み出せるのかを調査します。そこまでやって、よ



JULIA

うやく番組が放送されるのです。開発過程ではリサーチや効果測定が肝になります。今回の情報収集では、①理解を改善すること、②子どもたち同士の共通点を示して、その個性や才能を尊重する姿勢を見せること、③当事者の家族が抱える日常のチャレンジをサポートしていくこと、の3つを目標として掲げ、調査しました。自閉症の子を持たない保護者からは「自分がどう接しているか分からず、子どもたちに教えられないから助かる」という声があり、そうした声を元に、「ジュリアを見て何か違うな」と思う感情を持つのは当たり前。その感情を自分で否定するのではなく、ジュリアや、ジュリアの周りの人に聞く中で疑問に思うことを理解して「こう」という見せ方をしました。後の効果測定で、「ジュリアを通して自閉症の認知度が上

がった」その子どもたちもつとかわりたくなかった」「難しいトピックだけど、子どもが親しみやすいものを使って取り組んでいるのがよい」という声の結果として出てきたそうです。

2016年に一度アニメーションとして登場し、効果測定を行ったのち、

2017年にパペットとして登場したジュリア(日本では2018年に登場)。現在も、See Amazing in All Children(子どもたちみんなに素晴らしいを見つけろ)というセサミストリートの活動の中で、できないことに目を向けるのではなく、できることに目を向けて、それを支えている周りの能力にも、もっと光を当てていこうというメッセージを伝え続けています。

世界自閉症啓発デーに参加し、当事者のチャレンジをサポート

ジュリアが登場した2018年からは「世界自閉症啓発デー」の日本実行委員会に参画しています。自閉症の啓発だけでなく、実際に自閉症の子どもたちと関わったり、当事者団体の素晴らしい活動を発信したり、ジュリアを通じてお手



伝いできるように取り組んでいます。他にもNHKのEテレの番組や、YouTubeチャンネル「THE FIRST TAKE」にジュリアが出演したり、多様性理解のための活動の幅は広がっています。



子どもたちに手を抜かない、セサミストリートの信念

子どもたちに目の前の世界を見せるという思いから始まったセサミストリートのこだわりは、中で働く人たちも強く感じるようです。「番組では本物の音楽家を使い、ユーモアをしつかり磨く、という本物を子どもに見せていく。その姿勢が好きです。仕事で翻訳をしているときも純粋にエルモのジョークに笑ったりしてしまいます」と吉田さん。「全部正しくお行儀よくやらないといけない、ではなく、一人ひとりのキャラクターに学習目標があり、それぞれに個性



吉田さんとメルディアの永野事務局長。エルモと一緒に参加してくれました。

や特性があつて好きなものがある。キャラクターそれぞれの個性を見せて楽しんでもらうことを大切にしています」と言います。

間違つたことには間違っていると声をあげる姿勢も伝えていく

セサミストリートのキャラクターは、単に1人のキャラクターであつて彼らを持つ個性を代表しているわけではありませぬ。例えば、ジュリアには、一人の自閉症と出会つたとしてもそれは一人の自閉症と出会つたに過ぎないというメッセージを込めています。セサミストリートが何かを定義することはせず、個性の幅を見せ、一人ひとりを尊重する心を育んでいくようにしています。そのため、これまで「良い・悪い」という断定的な表現をしなかつたのですが、今年の夏に配信した差別をテーマにした番組で初めて差別は間違つていると断言をしました。差別のトピックでは、間違つたことは間違つていると言える子どもを育てようということを目標に取り組んでいます。そして、アップスタンダーという差別が起こつた現場を見た人がちゃんと声をあげられるようになることがもう一つの目標です。「声をあげるには、大人のサポートが必要だし、友達の協力も必要。その時、あるものを無いとしない、間違つていることは間違つて

いと言える姿勢をきちんと伝えていきたい」。セサミストリートはこれからも、子どもたちに寄り添い、健全な心を育むコンテンツを届けていきます。



吉田麻鈴さん
セサミストリートジャパン合同会社
マーケティングマネージャー
2016年セサミワークショップに入社。ニューヨーク本社にて従事し、現在はセサミストリートジャパンでジュリアを中心とした多様性の理解促進活動を担当。学生時代は心理学を勉強し、子どもの成長に興味を持ったことをきっかけにセサミワークショップに出会う。

123 SESAME STREET

Hello! セサミストリートの世界展が日本を巡回中!

日本上陸から50年を迎えたセサミストリート。番組の成り立ちや舞台裏、実物のパペットなどセサミストリートを賛賞に感じられる展示イベントが開催中です。最新情報はWebサイトの発信をお見逃しなく!



セサミストリートジャパン合同会社

テレビ番組「セサミストリート」等の教育メディアを制作している非営利団体「セサミワークショップ」の日本法人。子どもたちに良質な教育を届けるため、その地域のニーズや文化にあったコンテンツを届けている。



各1名様 PRESENT



Aぬいぐるみドアップポーチ (エルモ)

B Sesame Workshop 原著、ジェリー・マーティン 訳 絵本『ジュリアとともだちはどんなときでも』 (イマジネーション・プラス、2023年)



詳しくは31ページ



Shiyou Gakuen

自分の居場所、大家族の一員として 重度知的障がい者が生涯を共にする 支援施設「止揚学園」

知的に重い障がいがある人々が、仲間として楽しく、自分らしく暮らす「止揚学園」。ここで大切にされている言葉は、「目に見えないものより目に見えないものを」。目に見えない愛情や優しさ、素直さや謙虚さ、感謝などを大切にしている「止揚学園」を訪ねてみました。

偏見があつた時代に「共に生きる家」を作る

琵琶湖の東に位置するJR東海道本線 能登川駅を降りると、そこにはどこか懐かしい日本の風景が広がります。川

沿いを進むと、その先にパステルカラーのかわいらしい建物が見えてきます。それが、29歳から74歳まで(平均年齢59歳の37名が生活を共にする、障がい者支援施設の「止揚



学園」です。

福井生園長は「ここが設立されたのは1962年です。当時は、知的障がい者に対する偏見が多い世の中でした。また、国もほとんど支援や取り組みを行っていないのが実情だったと思います。

そんな中で、私の父でもある福井達雨は4人の知的に重い障がいがある子どもと出会いました。その中の1人は、使わなくなった牛小屋の土間に穴を掘り、そこに入れてもらっていたと聞いています。その子の母親に「なんてかわいそうなこと



をしてるんだ」と言う、「この子を外に出すと、皆がからかったり、石を投げたりするんです。走る車の前に飛び出そうとしても、誰も止めてくれません。命を守るためには、この穴に入れておかないんです」と涙を流しながら言いました。それを聞いたとき、福井達雨は「この子を牛小屋の穴に追いやってるのは、母親ではない。差別をしている日本人なんだ。そして、自分もその日本人の一人なんだ」と責任の一端を感じ、母親に必死で謝ったそうです。

それが、小学校にあがる前から10歳までの4人と共同生活を始めた、止揚学園の始まりです。10歳で止揚学園に来た方は、数年前にここで天寿を全うされています。「止揚学園は一時的なサービスを提供する場ではなく、生涯を共にする家なのです」とも言います。「ですから、止揚学園に空きができるということは、あなたが天に召されたということになります」と福井園長。

大家族の雰囲気大切に 思い思いの時間を過ごす

止揚学園では食事時間以外は、それぞれが思い思いの時間を過ごしています。切り絵などの作品を作ったり、夏はプールなどで身体を動かしたり、のんびりと入浴をしている方もいます。福井園長は「かつては活発に運動をしたり、出かけたりしていましたが、歳とともに胃腸などの医療行為を受ける仲間が増えてきて、昔ほどは動けなくなっています。一



福井 生園長と
奥様の
福井 容子さん

りするのは、最初から『葉っぱにこだわる彼』を否定しているようで、違うと思うんです。葉っぱが気になって、結局、目的の場所まで行き着かなくても、それはそれでいい。そう思って見守っています」と止揚学園の考え方を話してくれました。

実は、止揚学園内には納骨堂がありません。これは、人生を共に歩もうということから、止揚学園を見下ろせる高い場所に作られたものです。この納骨

堂には入居者の親も入ることができません。また、納骨されている方は、食堂に遺影が飾られています。福井容子さんは「数年前に母親を納骨した入居者ですが、毎朝、食堂に飾られている遺影を眺めて、『今日もお母さん、きれいやなあ』と言うんです。お母さんもうれしいでしょうね」と言います。そのようながりを聞くにつれ、本当に止揚学園は大家族なんだと思わされます。

創立60周年を迎えて ますます快適に！

今年で創立60周年を迎える止揚学園。「ようやく、コロナが感染症の5類になって、制限がなくなり、60周年のイベントができたのがうれしかったですね。2日間にわたり、関係者や家族が計500名も集まりました」と振り返ります。



止揚学園 創立60周年 「思い出が照らす方へすすむ会」

コロナ禍で訪れる人もいなかった止揚学園にたくさんのお客様が。利用者は「いっぱい、いっぱい」と興奮していました。そして、本番では練習以上の出し物を披露することができたのです。



止揚学園
住所:滋賀県東近江市佐野町885
URL:<http://www.biwa.ne.jp/~ikuru/index.html>
1962年8月、福井 達雨氏によって、近江八幡市の鹿寺を改造して作られる。多くの著名人が訪ね、また、多くの福祉関係者が見学に訪れる、知的に重い障がいをもつ人たちの支援施設。



コロナ禍の間には、入居者にとって生活の拠点となる本館・西館が完成しました。ここにはさまざまな工夫や止揚学園の思いが込められています。例えば、居住区の中央にリビングが配されているのは、夜にふと目が覚めたとき、部屋から呼ばなくても職員が気づくようにと、廊下のない設計にした結果です。ここでは、カウンターがあり、冷蔵庫や電子レンジがあるため、夜、誰かがふらりとお茶やジュースを飲みに来て、スタッフと話し込むこともしばしば。個室は一人部屋、二人部屋、四人部屋があり、

3名様 PRESENT

止揚学園
オリジナルハンドタオル
※柄は選べません

詳しくは31ページ

一部屋ずつ壁紙が異なります。このように、利用者目線で作られている止揚学園は、他の施設からの見学者も後を絶ちません。



般の家庭で、ご両親が徐々に歳をとっていくのと、同じ感覚です」と言います。入居者同士でトラブルなどはないのかと尋ねると、奥様の福井容子さんは「皆さん止揚学園に来て40〜50年一緒に暮らすからね、『あの人は言いだしたらきかないから、私が引いておこう』と考えるようです。みんな家族なんです。日々けんかしますが、すぐに仲直りして、けんかしたことなんか覚えていません。

だから、間に入って苦労をすることはないですね」と微笑みます。さらに、「葉っぱにこだわる方がいて、庭を移動すると落ちています。葉っぱが気になって仕方なくなりました。そうになると、立ち止まって、千切って、前に進めません。だからといって、彼が葉っぱに気を取られないように隠した



ヘラルボニー広報スタッフより

marinaさんご家族はとても素敵な方で、今回ヘラルボニー社ではなく、1人の作家様にスポットを当てて取材頂いたことを嬉しく思います。marinaさん自身の持つ明るさやチャーム的な人柄を多くの方に知っていただきたいです。健康者と障がいのある方々が当たり前に混ざり合っている風景がこれからもっと増えてほしい、その力にヘラルボニーがなっていければと思います。(小野静香さん)



marinaさんのインタビューに初めて同席させていただき、温かく朗らかなお人柄に魅了されました。marinaさんのアートには凝り固まった頭をほぐしてくれる力があると感じました。「楽しい」という純粋な気持ちで書かれる文字は、好きなものをそのまま好きだと思う素晴らしさを思い出させてくれます。(長島麗さん)



HERALBONY オンラインストア
ヘラルボニー公式ショップより、
"marina-moji"デザインの商品が販売中。
普段使いしやすいアイテムが多数です。
<https://store.heraltbony.jp>



株式会社ヘラルボニー

「異彩を、放て。」をミッションに掲げる福祉実践カンパニー。知的障がいのある作家や福祉施設とアートライセンス契約を結び、商品展開を行っている。現在30名ほどの作家が在籍。「概念」を持たない彼らの豊かな感性や発想を「異彩」と呼び、彼らから生み出される数々の作品を服やインテリア、街中のデザインに落とし込み、福祉を起点に新たな文化をつくりだしていく。

5名様 PRESENT



HERALBONYオリジナルペンケース
2種類セット

詳しくは31ページ



ものは変わるのでしょか。「〇〇を書きたい、という計画性や意図があるわけではなく、その瞬間の感情を紙に定着させているようなものだろうと思います。気持ちの変化によって作品に変化も出ているとは思いますが、もちろん、それは本人にしか分からない。本人も分からないかもしれない。」とお父さんの言葉に頷くmarinaさん。本人の内なるものは言葉では言い表せない

ご家族にmarinaさんの今後への想いを伺うと、「娘も後2年もすれば高校を卒業し、社会に出ていく立場になります。明るくて周りを思いやる気持ちに溢れていて、活発な今の彼女らしさをもち続けて、人生を楽しんでほしい。」とお母さん。「ここ数年で地球規模で障がいのある方やその家族にとって良い社会になってきているのかなと思います。彼女が生まれた時は大変だなと思うこともあったけれど、今すごく楽しく生き



marina
東京都内特別支援学校在学中。お寿司とゲーム(マリオカート)と、お料理すること、絵を描くことが大好き。シール、スタンプ、ドリップングなど様々な絵作りをするなか、一番気に入っているものは、古代な宇宙なのか未来の言語なのか、彼女なりのタイポグラフィをノート一面に書き綴っているものである。

エネルギーとなって湧き出てくるのでしよう。「書き始めた当初と現在だと、微妙にスタイルが変わっているのですが、時間が経つことと変わっていくのかもしれない。」とお母さんも言います。
想像していなかった楽しいことが今に繋がっている

「書いている時」は楽しい、と語るmarinaさん。しかし、作品をよく見ると少しずつ違いがあることが分かります。何か感情の変化によって書きたい



ヘラルボニー
在籍アーティスト
インタビュー
作家
marina

「速く書きたい」
衝動にペンを
ひたすら走らせる

「異彩を、放て。」をミッションに掲げ、多数の障がいのあるアーティストが在籍するヘラルボニー。marinaさんは弱冠16歳ながら既にライブドローイングなど作家として活動中。作品作りのエネルギーの源を探ってみました。

家族達の「書く」姿を真似したい！
から始まった作家活動

「僕や家族達が机に向かって何かを書いている姿を見て、自分もやりたい、スビーデーに書きたい!」と思って書き始めたのかなと思います。」と語るのはmarinaさんのお父さん。4年ほど前から、気づけば、机に向かい、画用紙いっぱい文字を書き連ねる姿があったといいます。高校生になった現在も、ノートや枠一面に文字を埋め尽くすまで、書き続けるのがmarinaさん流。色は黒がメインで、鮮やかでカラフルな作品、という色合いではありません。黒色が好き、というmarinaさんらしい作品だと感じます。この、通称「marina-moji」は一見外国語に見える、marinaさん独自の文字。なんて書いてあるのか?何か法則があるのか?と、思わずジッと見つめてしまいます。ルールや規則性がなく、見る人が勝手に想像力を働かせるような不思議な魅力に引き込まれます。

体を動かすのも大好き!
リフレッシュ上手が明るさの秘訣

普段のmarinaさんは、どんな人柄なのかご家族に聞くと、「明るくて、ライブドローイングなどで人前に立つのも物怖じしない性格です。どちらかという



Live Drawing

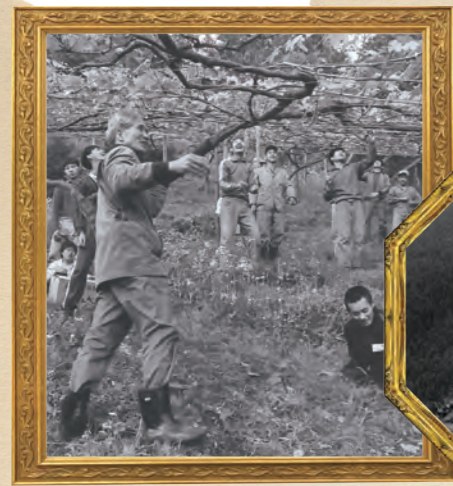
と自分の誕生日会など、知り合いがいる中で自分が注目されるのは恥ずかしいそうです。」とお母さん。marinaさん自身も、「楽しいことが好き。放課後デザインサークルで遊んだり、バスケットボールやゲーム、塗り絵も好き。学校は友達もたくさんいて楽しい。」と、多趣味なようです。「机に向かう行為と、外に出る行為、両方を上手く楽しんでリフレッシュしているんですね。」とお父さんも話します。

自分の作品がTシャツや
バッグになって嬉しい

自身の作品がTシャツやバッグなど商品化されることに対して「嬉しい」とmarinaさんは即答。取材時も、Tシャツを着て臨んでくれましたが、marinaさんの作品の良さが引き立つかつこいデザインは、人気が高いのも納得です。ヘラルボニーの作家の作品では色鮮やかなものが多い中で、シンプルさが際立つmarinaさんの作品に、「黒がベースの作品が多いので、商品化するときに再現しやすいんだと思います。」と、ご自身もデザインの事に携わるお父さんは言います。



Original T-shirt



中学教師の「こころみ」が
ワイナリーに成長

ココ・ファーム・ワイナリーの始まりは、1958年のこと。当時、足利市内で特殊学級の教員をしていた川田昇が、自ら山の斜面を買い取り、開墾を始めたのです。(有)ココ・ファーム・ワイナリーの取締役を担っている池上峻さんは「川田が教員をしていた頃、教室の隅っこで小っちゃくなっている生徒がいたそうです。今で言えばいわゆる知的障がいの子どもたちは、家がかくまわれるように過ごしていたため、何もできないし、無気力だったのだとか。そんな姿を見て、川田は「何とか一人前にしなきゃ」と考えました。

川田の実家は隣の佐野市で農家を営んでいました。小学校にあがる前から畑の手伝いをしていたため、小学校入学時に自分の名前すら満足に書けなかったそうです。だからこそ、自分が教師になったとき、教室の隅で小さくなっていく子どもを見て自分の幼少期と重なり、この子たちと一緒に生きていこうと思ったのだそうです。机の上の勉強が苦手でも野良仕事をしてもらえれば、きつと何か身に付くことがあるだろうと、山の斜面を購入したと聞いています。

最初は川田と10人弱の生徒が、課外授



PRODUCT OF SUN, SOIL AND SINCERITY
COCO
FARM & WINERY

ワイナリーで働き、
いきいきと生活する
こころみ学園生たち!

ココ・ファーム・ワイナリーのワインは、2000年に開催された九州・沖縄サミットの晩餐会、2008年の北海道洞爺湖サミットの夕食会、2016年のG7広島外相会合の晩餐会などで使われています。造っているのは、知的障がい者が生活を共にする「こころみ学園」の皆さんです。



業としてブドウ畑を開墾したと聞いています。この小さな「こころみ」が、ココ・ファーム・ワイナリーのスタートです」と教えてくれました。

柔らかな赤ちゃんの手から
たくましい農業従事者の手へ

山の斜面に来た子どもたちは、どのようにな成長していったのでしょうか。「子どもたちは、山に着いた途端にピクニック気分であれなくなり、駆け回っていました。その傍らで川田が木を切り倒すと、ものすごい音と振動、地響きがあります。驚いた子どもたちは、「やってみたい」と言いだし、見よう見まねで山仕事を始めました。

最初に山に連れて行ったとき、子どもたちの手は、まるで赤ちゃんのような柔らかな手でした。それは、何も経験してこなかった手です。ところが、好奇心が赴くままに山仕事をやっていくと、



何度もマメができてはつぶれ、シワが立派に刻まれ、農業従事者の手に成長していきました。手とともに、体も心も生活力も鍛えられていったのです。川田に褒められると、それまで誰にもあてにされることなかった子供たちが、情緒面で落ち着いて





「自分の名前も満足に書けなかった川田が、先生に怒られて、しょんぼりと帰ってくる、愛情深い母親はそっと抱きしめてくれたそうです。そして、『いいよ、字なんか書けなくたって。これだけ畑仕事ができるなら、おまえはもう一人前の百姓じゃないか』と褒めてくれました。泣いていた川田は、その言葉でたちまち笑顔になったそうです。大好きな人



「苦勞はいっぱいあったかと思いましたが、いつも話をするとき、川田はにこにこしていました。きつと、大変なことも含めて楽しんでいたのでと思います。なぜかといえは、その子たちがどんどん成長し、変わっていったから。崖のような斜



「1965年頃になると、教員時代の教え子の中でも就職できずにいる子どもたちがはじめました。そこで川田は社会福祉法人格を申請し、1969年に知的障害者更正施設『ころみ学園』ができました。今は入所者が90名、通所者が40名の計130人が生活しています。

知的障がい者から学ぶことは大きい

1日1万本のボトルにキャップをする仕事を、歌を歌いながら黙々と、ちよつとよそ見までしてやるんです。私が代わりにやってみたら、すぐにドミノ倒ししちゃいましたから。本当に彼らは優れているんです。

「1980年にココファーム・ワイナリーを設立しました。椎茸栽培も行っていますが、こちらは原木を移動させるのが主な仕事なので、ころみ学園に入所すると、最初にやらしてもらおう作業になります。そこでの作業をスタッフが見ていて、『ずっと同じことをくり返すだけだわ』と、瓶詰めラインでキャップを被せる仕事がいいのでは」とか、『手先が器用だから、ブドウ畑でハサミを使う仕事がいい』というように、各自の適正を考えて、ワイン造りの仕事を振り分けます。入所者はやりたいことができるため、職人として輝いていくのです。



(有)ココファーム・ワイナリー 取締役 池上 峻

「自分は一人前の農業従事者だ」と思っ

「1965年頃になると、教員時代の教え子の中でも就職できずにいる子どもたちがはじめました。そこで川田は社会福祉法人格を申請し、1969年に知的障害者更正施設『ころみ学園』ができました。今は入所者が90名、通所者が40名の計130人が生活しています。

山仕事からころみ学園へそして、ワイナリーに

「1980年にココファーム・ワイナリーを設立しました。椎茸栽培も行っていますが、こちらは原木を移動させるのが主な仕事なので、ころみ学園に入所すると、最初にやらしてもらおう作業になります。そこでの作業をスタッフが見ていて、『ずっと同じことをくり返すだけだわ』と、瓶詰めラインでキャップを被せる仕事がいいのでは」とか、『手先が器用だから、ブドウ畑でハサミを使う仕事がいい』というように、各自の適正を考えて、ワイン造りの仕事を振り分けます。入所者はやりたいことができるため、職人として輝いていくのです。



5名様 PRESENT



川田 昇著
『山の学園はワイナリー』
(テレビ朝日、1999年)

詳しくは31ページ

ココ・ファーム・ワイナリー

住所: 栃木県足利市田島町611
電話: 0284-42-1194
HP: <https://cocowine.com>
ワインショップ営業時間: 10:00~18:00
(テイスティングは17:00まで)
カフェ営業時間: 平日 11:00~16:00(15:30L.O.)
土日祝日 11:00~17:00(16:00L.O.)
休み: 年末年始、1月第3月曜日から5日間、
11月収穫祭前日から3日間

